

「産業技術活用フォーラム 2011」開催のお知らせ

NPO 産業技術活用センター

はじめに： 大企業などが開発した技術や製品を自社に取り込めれば効率的です。そのチャンスがあります。当 NPO では永年、大企業の技術移転に携わってきました。今回、7月5日（火）に掲題の産業技術活用フォーラムを開催します。第1部は、知的財産の活用に向けた取り組みとその成果報告、第2部は、大企業や大学の移転可能技術のご紹介をお願いしております。オープンイノベーションの有用性を感じていただくとともに、是非自社への移転可能性を検討されますようお願い致します。

7月5日の “次 第”

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 62号館 108会議室

<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/index.html>

第1部 知的財産の活用に向けて

13時～13時15分 ご挨拶に替えて—NPOの技術移転活動

産業技術活用センター事務局長 野尻昭夫

13時15分～13時45分 「ビジネス開発部の活動紹介(知財活用でwin-winの関係構築)」

富士通知的財産権本部ビジネス開発部部长 吾妻勝浩氏

13時45分～14時15分 「セリア触媒を用いた脱臭技術開発—電中研移転技術の成果」

大川原製作所開発部 飯田晃弘氏

第2部 移転可能技術プレゼン

14時20分～14時55分 技術プレゼン 1 富士通株式会社 殿

- ① 簡易型制振技術
- ② 映像監視技術
- ③ データエントリ技術

14時55分～15時25分 技術プレゼン 2 早稲田大学 殿

- ① 屈折率制御素子とその開発

15時25分～15時55分 技術プレゼン 3 アーズ株式会社 殿

- ① 会社紹介と製品技術紹介
- ② センサネットワークの現状
- ③ アーズにおける応用事例
 - ・ 地産地消への応用
 - ・ 安心安全への応用

15時55分～16時 閉会ご挨拶

なお、ご参加になる場合、itec@cea.or.jp まで所属・氏名をご連絡いただければ幸いです。

技術シーズの概要

富士通殿の技術紹介（発表者 富士通(株)ビジネス開発部マネージャー 広瀬勇一）

簡易型制振技術：ラック型製品の地震による倒壊防止に有効な制振ユニットで、ラック型製品（例、サーバーなど）の内部天井に後付けできるようにしました。バネ、錘、ダンパーから構成されたユニットです。

映像監視技術：不審者の侵入など変化が生じた場合のイベント映像を常時監視映像とは別の記録部に記録したようにした点が特徴です。汎用/小容量のメモリを使用出来るため小型かつ安価な製品が実現できます。家庭用インターホンなどに適用可能です。

データエントリ技術：回転式ダイヤルによるデータエントリ技術で、指が触れたくぼみに対応するレンジやモードを有効にしてデータ入力を行うようにしました。測定器やTV用リモコンなどに応用可能です。

早稲田大学殿の技術紹介（発表者 早稲田大学理工学術院・准教授 清水創太）

屈折率制御素子とその開発：外部印加電圧により内部の屈折率分布を制御可能な液晶材料を用いた光学機能素子を開発することで、視野の広さを保持したまま、メカニカルな可動部なしに（用途によっては複数の）注目点や拡大率が可変な光学レンズ（広角中心窩レンズ）を実現することが出来ます。

技術応用、展開のポイント：

①メカニカルな可動部をもたないため、省電力・省スペース化が可能となります⇒こういったニーズのある分野への応用（内視鏡カメラや監視用カメラ）

②シンプルな素子単位の開発を行うことで、汎用性を高める⇒超成熟産業と言われて久しい光学産業のイノベーション・市場の拡大（従来にない全く新しい概念のレンズ誕生）

アーズ殿の技術紹介（発表者 アーズ(株)代表取締役社長 佐藤 光）

今日日本では殆ど行われていない無線を使っでの計測をターゲットとして、センサ選定からシステム構築までを研究開発し、新世代センサネットワーク機器の開発とシステム構築まで行っています。ものを計ることでユーザーも多方面にわたっており、医療分野、自動車分野、電力分野までフォローしています。

今回は、多数の応用事例の中から、① 地産地消への応用 ② 安全安心への応用の2つの事例を発表します。

他に参考出展 エコクリーン（株）サクライ）を紹介します。

金属や、ガラス表面についた油汚れを水だけで洗い落とすことができる表面コート技術です。燕三条の洋食器メーカーの開発商品です。用途を探しています。 以上